

## ■士清まつりのこと

副代表 馬場 幸子

5月8日(日)

I 記念講演会(谷川士清旧宅で10時～)(参加者72名)

演題「士清さんは国学者」講師:高倉一紀皇學館大学教授

II 士清史跡めぐりウオーク(午後1時～旧宅周辺)(参加者29名)

III 谷川士清資料(自筆扇画・短冊のパネル展示)(旧宅で終日) 参観者約160名

5月10日(火) 士清まつり記念茶会(福蔵時境内)(参加者約65名)

\*高倉先生は、「阿漕雲雀」に見える津と士清評に触れられ、津は交通の便もよく、山も低く、海も浅く、人情もおっとりしていて、ぬきんでた人がいない。ただその中で士清は国学に秀でている人物、とおっしゃったのが印象的でした。講演が午前中、ウオークが午後と分かれてしまい、史跡めぐりの参加者が少なくなりましたが、熱心に会員の説明を聞いてくださいました。

## ■第3回ボラティアガイド研修会(郡上八幡町)に参加して

12月5日(月)

奥田 榮子

風の吹く寒い朝8時にバスは津を出発、士清の会からは9名が参加しました。一宮付近から雪がちらつき始め、急遽、雪道に強い若い運転手に交代。1時間遅れて12時半ようやく郡上八幡に到着しました。昼食後、時間を切り詰めて博覧館を見学。男性の踊りを交えた流暢なガイドで、歴史・伝統工芸の案内を受け、その後、希望者が30分間の雪の町内散策をし、2時半には早々と郡上八幡を後にしました。地元の人にも珍しい初雪の大雪に会い、忘れられない旅になりました。



トンネルを出る度深さ増す雪に声をあげつつ郡上へ向かふ  
露地の間に白々浮かぶ八幡城幻のごと雪降り頻る

雪の郡上八幡町

## ■谷川士清史跡案内(士清旧宅・谷川神社・反古塚・士清の墓・福蔵寺)を体験して

今年度は、小学校4年生への出張講座と併行して、申し込みのあった3校と市民センター受講生の谷川士清史跡案内を実施しました。

11/10 神戸小学校生徒54名(案内は森代表・奥田・別所富・藤井の4名)

11/11 雲出市民センター受講生46名(案内は竹内・別所・奥田・別所富・藤井の5名)

12/9 敬和小学校生徒46名(案内は馬場・増井・別所・吉川・奥田・別所富6名)

12/13 修成小学校生徒36名(案内は竹内・別所・増井の3名)

小学生は先生に引率され、整然と列をなして徒歩で到着。息を切らしている生徒もいましたが、説明を一生懸命肩から下げたノートに書き留めたり、士清像や反古塚、福蔵寺の絵を書いたりしていました。今後は新しく津市になった地域の人たちや学校からの依頼も受け付け、士清の業績を知っていただきたいと思いません。そして、人を引きつけるガイドを目指して一層の努力が必要だと感じました。(別所 勝)

## ■六阿弥陀めぐり

11月2日(水)、第4回勉強会は一日かけて伊賀街道沿いの八町3丁目にある六阿弥陀堂を始め、旧津市内に現存する6体の阿弥陀像を訪ね歩こうとの趣旨で、「六阿弥陀めぐり」が行われました。参加者11名。その由来は、恵心僧都が比叡山の檜の大木を輪切りにして、六無阿弥陀佛の文字をそれぞれに記し、下の病気を治すよう念じたのが元だと伝えられています。稱念寺では、恵心僧都は名を源信と言ひ、比叡山の恵心院で修行されたので恵心僧都と呼ばれるようになったとか、元禄時代に、六阿弥陀参りを全国に広めたという話を聞きました。

また大信院の阿弥陀仏は二体あり、一体は戦火の中住職が抱きかかえて堀川に飛び込み、お守りされたという話には感動しました。(もう一体は出口岩田の通宵寺より合祭されたもの)

仏様が戦火で焼失した専琳寺、八十八カ所めぐりができる広大な敷地の東雲寺、「阿」の名字を見ることができた六阿弥陀堂などを拝観できて、有意義な一日でした。(別所富貴子)